

熊本から世界に向けて、
サイエンスを発信するために。

『発生研サポートーズ』募集のお知らせ

(ご寄附のお願い)

発生医学研究所では、発生医学で社会に貢献するために、発生学の研究成果をもとに臓器を創ることを目指しています。発生過程で臓器がどのように形成されるのかを理解することは、再生医療に必要な臓器を創る上で不可欠になります。そのために、発生研はチームを組んで臓器の再建に取り組んでいます。また近年は若手の教授や独立准教授が続々と着任し、研究室が増えています。そして既にいくつかの研究成果をあげています。今後、発生研全体としてもさらなる研究の進展が期待できるでしょう。しかしながら、それらを支える先端研究設備の活用と維持には膨大なコスト(機器の更新・修理、試薬・消耗品、技術者、電気等の費用)がかかります。これらの資金は毎年度削減され、この状況が今後もさらに続くことから、極めて厳しい運営状況にあります。

そこで発生医学の知見をもとに臓器を創るという私たちの「夢」に共感していただけた方々に、「発生研サポートーズ」の一員になっていただけないでしょうか。ご無理のない金額を、ご都合に合わせたタイミングで寄附いただくことで、私たちは熊本から世界に向けてサイエンスを発信することができます。ご寄附をお受けした方には発生研の研究成果について定期的にお知らせ致します。甚だ恐縮ですが、皆様からのご支援を切にお願いする次第です。何卒、よろしくお願い申し上げます。

詳細はこちらへ



2021~2023年の主なイベント

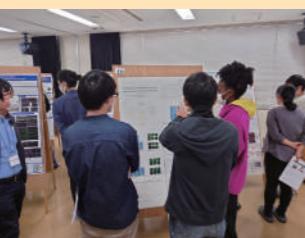
●2021年11月

第16回生命医科学研究所ネットワーク
国際シンポジウム&KEY FORUM 2021を開催



●2022年11月

発生研ポスター大会開催



●2021年6月、2022年10月

県立八代中学校で特別講義を実施。



●2023年1月

第1回発生研高深度オミクス
シンポジウムを開催

高深度オミクス医学研究拠点ネットワーク形成事業がスタート
2022年4月より、文部科学省共通政策課題「共同利用・共同研究拠点の強化：高深度オミクス医学研究拠点ネットワーク形成事業」に採択されました。国内4拠点の大学附属研究所(熊本大学発生医学研究所、九州大学生体防御医学研究所、東京医科歯科大学難治疾患研究所、徳島大学先端酵素学研究所)がネットワークを形成し、データ駆動型サイエンスを推進する「高深度オミクス研究センター」を設置しました。当センターでは、

遺伝子発現やタンパク質相互作用、エピゲノムならびにゲノムの高次構造などを単一細胞・単一分子レベルで解析し、その高精度・高分解能のビックデータを統合するための研究プラットフォームの確立を連携して実施します。



IMEG 熊本大学発生医学研究所
Institute of Molecular Embryology and Genetics

〒860-0811 熊本県熊本市中央区本荘2-2-1 TEL 096-373-5786
E-mail:imeg@kumamoto-u.ac.jp FAX 096-373-6580

https://twitter.com/IMEG_KumamotoU



発生研大学院修了者の今。

修士(博士前期)課程修了者の進路:国公私立大学・研究所、国公私立病院・薬局、官公庁、博士(博士後期)課程進学、アステラス製薬㈱、シェリング・プラウ㈱【現MSD㈱】、㈱アステム、祐徳薬品工業㈱、東京CRO㈱【現日揮ファーマサービス㈱】、㈱新日本科学、㈱大塚製薬工場、㈱オフテクス、キリンファーマ㈱【現協和发酵キリン㈱】、クオール㈱、ライオン㈱、日本調剤㈱、トモニティ㈱【現樹ファーマみらい】、川澄化学工業㈱、日本メディフィジックス㈱、三菱化成メディエンス㈱【現㈱LSIメディエンス】、サイトサポート・インスティテュート㈱、中外製薬㈱、㈱ケーニー・シー、システムサイエンス㈱、アドバンテック㈱、㈱ハイテック、山下医科器械㈱、㈱リプロセル、ドギーマンハヤシ㈱、南日本ハム㈱、日立電子サービス㈱【現㈱日立システムズ】、WDB㈱
博士(博士後期)課程修了者の進路:国公私立大学、国公私立病院、官公庁、留学、産業技術総合研究所、実験動物中央研究所、武田薬品工業㈱、アーケ・リソース㈱、イーピーエス㈱、サーモフィッシャーサイエンティフィック㈱、セレジエンテック㈱、旭硝子㈱

PROCESSES

INSTITUTE OF MOLECULAR EMBRYOLOGY AND GENETICS

Vol.
7

日本でたった一つの 発生医学の研究

? から始まる
成功へのプロセス。

大学院入試説明会
2023年4月29日(土)開催

オンライン視聴可能



熊本大学
Kumamoto University

発生医学研究所

日本で唯一の発生医学の研究所「発生研」では、
生命の謎を追求し、iPS細胞や臓器再生など、
最先端の研究を行っています。

日本でたった一つの 発生医学の研究所

新任紹介

幹細胞部門 胎盤発生分野 *Trophoblast Research*

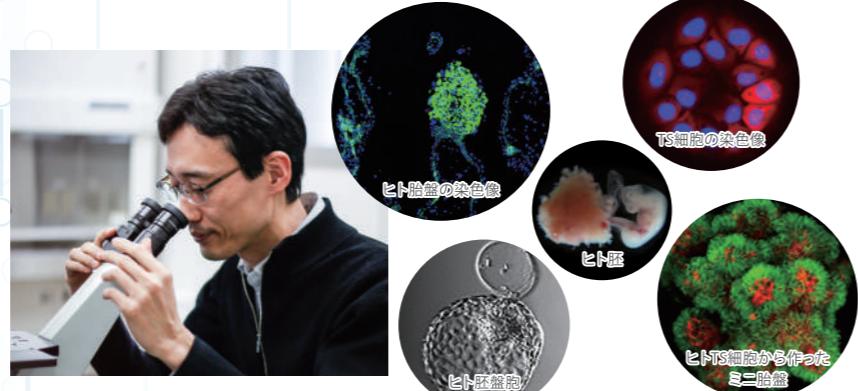
胎盤発生分野
岡江 貞明 教授

胎盤発生分野
詳しい情報はコチラ



充実した研究環境で世界とつながるラボへ。

胎盤発生分野自体は世界的に注目されているものの、日本では胎盤に特化した研究が行われていないため、当ラボは日本の胎盤研究を牽引する存在になるべく、さまざまな取り組みを行っていきたいと考えています。海外でアクティブに研究を行っているラボとの交流も、そのひとつです。また、発生研は物心両面でラボ同士の距離感が近いことも特徴。単独の研究室では使えないような機械もリーズナブルに使用できるなど、恵まれた環境下で研究に集中することが可能です。



岡江教授PROFILE

東京大学理学部生物化学科卒業。東京大学大学院理学系研究科修了。2010年4月より東北大学医学系研究科研究員、2012年4月より同助教、2019年4月より准教授。2023年1月より熊本大学発生医学研究所教授。

学歴
● 2000年4月 - 2004年3月 東京大学理学部生物化学科
● 2004年4月 - 2010年3月 東京大学大学院理学系研究科 生物化学専攻(岩倉洋一郎研究室)

職歴
● 2010年4月 - 2012年3月 東北大学医学系研究科・研究員(有馬隆博研究室)
● 2012年4月 - 2019年3月 東北大学医学系研究科・助教(同上)
● 2019年4月 - 2022年12月 東北大学医学系研究科・准教授(同上)
● 2023年1月 - 現在 熊本大学発生医学研究所・教授

大学4年制学部・学科卒業生 医・薬・理・工・農学部等さまざまな学部の卒業生

社会人

学部を卒業して、社会人となった方

INSTITUTE OF MOLECULAR EMBRYOLOGY AND GENETICS
PROCESS

医学部医学科等6年制学部の卒業生
医学部医学科・獣医学部獣医学科等6年制課程を卒業した方

他大学・他研究科の修士課程修了者
様々な大学院修士課程の修了者

社会人
大学院の修士課程を修了後、社会人となった方

薬学部薬学科等6年制学部の卒業生
薬剤師養成の薬学科等6年制課程を卒業した方

他大学・他研究科の修士課程修了者
様々な大学院修士課程の修了者

社会人
大学院の修士課程を修了後、社会人となった方
プレ柴三郎プログラム生^{※2}
本学医学科の学部生で大学院医学教育部に進学する意思のある方

研究室紹介

発生制御部門 染色体制御分野 *Chromosome Biology*

染色体制御分野では、生殖細胞だけに起こる特異な細胞分裂・減数分裂に着目しています。半減した染色体を持つ卵と精子が受精して、親とは異なる特性を持つ次世代が生まれるので、生物の多様性や進化を生み出す重要な減数分裂の仕組み解明に挑むのが当ラボの使命。研究をヒトの疾患の解明にも結びつけるべく、高等生物であるマウスの生殖細胞を使っているのがユニークなポイントです。

「なぜ生物は命を次世代につないでいるのか?」生命の根本を見つめる研究です。発生研には、世界に肩を並べる充実した研究環境がありますよ。

阿部 洋典 特任助教



菊池 浩二
講師

アカデミックの研究は、自由度の高さが魅力です。ヒトの病態につながるような発見を追い求め、日々の研究に取り組んでいます。

発生研では、複数の国立大学研究所や、基礎生物学研究所とも協定を結んで研究を行っています。幅広い研究、技術に触れられることは大きなメリット!



染色体制御分野の詳しい情報はコチラ

臨床の医師から研究の道へ進んだため、道具の使い方や研究の進め方など、分からぬことだらけ。先輩にサポートしていただきながら、学びを深めています。

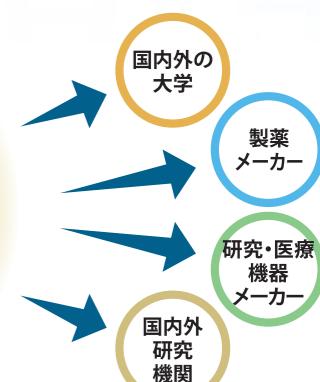


吉村 早織 大学院生



世界へ羽ばたけ!

知識を磨き、興味の対象をとことん極めたら、教育研究機関のみならず、産業界・行政機関、そして九州から海の向こうにも広がっています。



※1 発生・再生医学研究者育成コース

医学教育部博士課程には、発生・再生医学に関する学際的な諸領域を包括的に理解して、将来の発生・再生医療を実践する上で解決すべき諸問題に挑む先導的な研究者および医師を育成することを目的として、「発生・再生医学研究者育成コース」が設置されています。コース独自の授業科目はすべて英語で開講されます。

※2 柴三郎プログラム

本学医学部医学科の学部生が、学部のうちに大学院の単位を取得できるフレ柴三郎コース、卒後臨床研修を受けながら同時に医学教育部博士課程で大学院生として研究ができる柴三郎コースがあります。女性の基礎研究医の育成を促進するため、女性柴三郎コースも設置しています。奨学金等の支援を受けることができます。